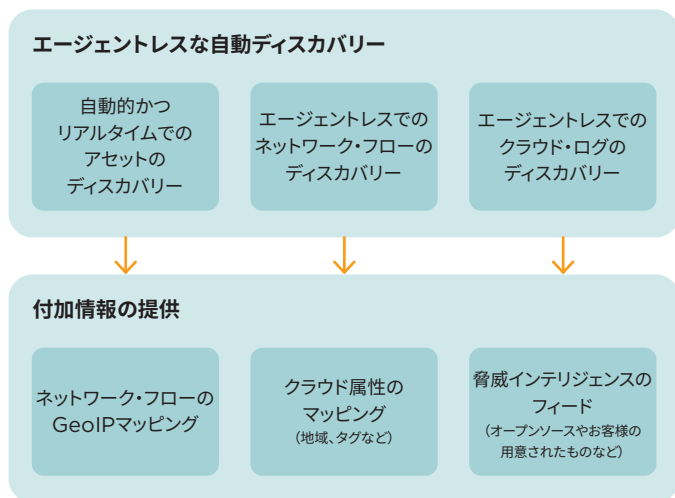


データシート

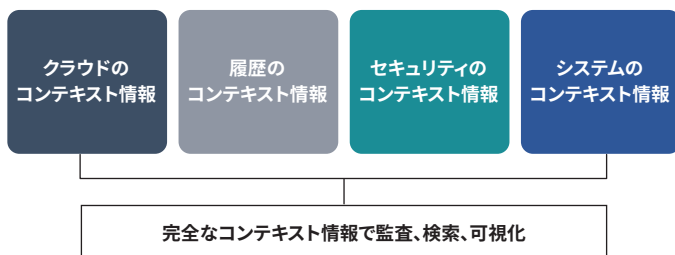
Cloudvisory

マルチクラウド環境におけるワークロードへのセキュリティを、
 詳細な可視化、継続的なコンプライアンス監視
 およびインテリジェントなガバナンスを通じて実現



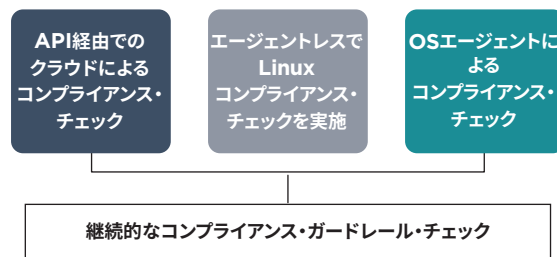
可視化

パブリック、プライベートにかかわらず、マルチクラウド環境における企業の資産、セキュリティ・コントロール、セキュリティ・イベントを継続的に見つけ出し、マッピングを行います。機械学習により、コンテキスト情報を活用して、隠れたリスクや脅威を見つけ出します。



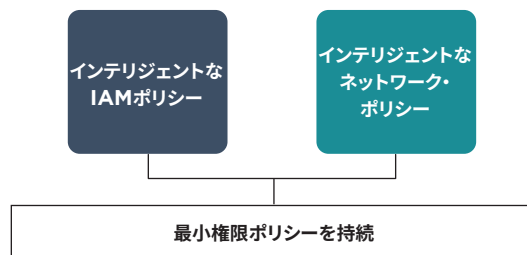
コンプライアンス

1,400点を超えるコンプライアンス・テンプレートで、自動的に監視します。ベスト・プラクティス、カスタム・ポリシー、コンプライアンス・フレームワーク (CIS、GDPR、HIPAA、NIST、PCI DSSなど) の適用が可能です。



ガバナンス

機械学習によるインテリジェンスにより、ガバナンスの手法を強化します。効率的な学習やテスト、最小権限ポリシーの適用などにより、攻撃にさらされる可能性のある範囲を最小化し、侵入を防ぎます。



パブリック・クラウド — Azure

可視化対象

アカウント、IAMユーザー/グループ/ロール、地域、リソース・グループ、サービス、サブスクリプション、サブネット

ディスカバリー対象

AKSポッド、アプリ・サービス、アプリ・サービス環境、Cosmos、DBアカウント、DNSゾーン、機能、ロード・ balancer、Redis Cache、サービス・ファブリック・クラスター、ストレージ・アカウント、仮想マシンなど...

パブリック・クラウド — AWS

可視化対象

アカウント、IAMユーザー/グループ/ロール、地域、サービス、サブネット、VPC

ディスカバリー対象

EC2インスタンス、EFSファイル・システム、EKSポッド、エラスティック・ロード・ balancer、Kinesisストリーム、Lambda機能、NATゲートウェイ、RDSクラスター、Route53ホスト・ゾーン、S3バケット、SNSトピックなど...

プライベート・クラウド — OpenStack

可視化対象

クラスター、インスタンス、キーストーン、ネットワーク、プロジェクト(テナント)、地域サービス

OpenStack (Nova) インスタンスとKubernetesポッドで、ネットワーク・セキュリティ・グループのディスカバリー、解析、管理。ネットワーク・フローを監視して、ほぼリアルタイムで脅威を検知。

プライベート・クラウド — Kubernetes

可視化対象

クラスター、導入、ユーザー/グループ/ロールの識別、名前空間、ネットワーク、ポッド

従来のデータセンター

オペレーティング・システム

- Ubuntu Linux
- Redhat
- CentOS

自動化の統合

外部(サードパーティ)システム

自動的かつ設定可能なアラート、セキュリティ・イベントの履歴解析(SIEM、Elasticsearchなど)、APIトリガー/イベントベースのコンプライアンスのスクリーンとレポート、セキュリティ・イベントの別のソースのログ取り込み(従来のネットワーク・デバイス、アイデンティティ・プロバイダーなど)

Gartner

Cool Vendor 2018

Cloudvisoryは「Cloud Security 2018」で Gartner Cool Vendorに選ばれました。



Cloudvisoryは、CIO Application誌における Amazonソリューション・プロバイダーの上位25社に位置付けられました。



Cloudvisory-SaaSは単独でSOC2認証を受けています。

Cloudvisoryの詳細については、www.FireEye.jp/solutions/cloudvisoryをご覧ください。

ファイア・アイ株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-22
テラススクエア8階 | 03-4577-4401 |
Japan@fireeye.com

©2020 FireEye, Inc. All rights reserved. FireEyeは FireEye, Inc.の登録商標です。その他のブランド名、製品またはサービス名はそれぞれその所有者の商標またはサービスマークとして登録されている場合があります。
CS-EXT-DS-JA-JP-000299-01

FireEyeについて

FireEyeは、インテリジェンス主導型のセキュリティ企業です。顧客企業は、FireEyeの革新的セキュリティ技術、国家レベルの脅威インテリジェンス、世界的に著名なMandiant®コンサルティングの知見が統合された単一プラットフォームを、自社のセキュリティ対策の一部としてシームレスに組み込むことができます。このアプローチにより、FireEyeは準備、防御、インシデントレスポンスといった、組織がサイバー攻撃対策をする上での課題となっていた複雑性や負担を解消します。

